

学習ノート「徹兒哀辭」 3

令和5年2月4日(担当 繁子 梅井 西村)

原文 3

自_レ此以往、任_レ汝讀書、任_レ汝積學、培養深厚、必當有_レ成、
凡予之所望於汝_ニ多此類、

而所_レ以不_レ復敢以區々督_レ汝也、今也遭_レ汝之没、檢汝_ニ遺物_一、
故紙滿_レ筐、文字塗抹、無_レ復可_レ觀、雖然就伺_レ其趣向意思_一稍見_レ其端倪、

読み 3

此れより以往、汝の讀書に任せ、汝の積學に任せ、培養深厚、必ず當_{まよ}に成すことあるべし。凡そ予の汝に望む所は、多くは此の類_{たぐ}い、
而して復た敢えて以つて區々汝を督せず所以なり。

今也汝の没するに遭う、汝の遺物を檢する、
故紙は筐に滿ち、文字は塗抹、復觀るべき無し、
然りと雖ども、就ち其の趣向意思を伺い、やや其の端倪を見る

訳文 3

これより後、おまえが読書をするに任せ、学びを積むに任せ、深く厚く徳を養えば、必ず成し遂げる事があるだろう。おおむね私がおまえに望むことの多くは、このようなことだ。

それで、敢えてこまごまと指導しなかった。

今、おまえの死にあう。おまえの残した物を調べてみた。
使い古した紙は箱にいっぱいあり、それは文字で塗りつぶされていて、読めるようなものはなかった。そうであるが、そのやっ行って行こうとするめあてや気持ちをさぐることはでき、そのきざしを見ることはできる。

語句 3

以往_ニイオウ これより後 類_ニたぐい 區々_ニこまごました

故紙_ニコシ ほご紙 塗抹_ニ塗り消すこと

就_ニツク なすおもむく すなわち

趣向_ニ目標決めて向かっていく

端倪_ニ事の本末終始 きざし